

後 期 高 齢 者 医 療
広域連合電算処理システム
外部インターフェース仕様書

2022 年 11 月 (第 17 版)

■ 改版履歷

2018年	9月	(第1版)
2018年	12月	(第2版)
2019年	4月	(第3版)
2019年	6月	(第4版)
2019年	8月	(第5版)
2020年	2月	(第6版)
2020年	4月	(第7版)
2020年	8月	(第8版)
2020年	12月	(第9版)
2021年	4月	(第10版)
2021年	8月	(第11版)
2021年	12月	(第12版)
2022年	1月	(第13版)
2022年	4月	(第14版)
2022年	6月	(第15版)
2022年	9月	(第16版)
2022年	11月	(第17版)

2 インターフェース一覧

2.1 資格管理業務 (市区町村→広域連合)

No.	情報名 (情報種別コード)	レコード長	内容	周期	交換 情報	備考
1	住民基本台帳情報 (日次：A01) (月次：A11)	1300バイト	年齢到達により被保険者となる住民および世帯構成員、並びに既に被保険者となっている住民および世帯構成員の住基情報(世帯単位)	日次 月次	共通	※1 ※2
2	住登外登録情報 (日次：A03) (月次：A13)	1300バイト	年齢到達により被保険者となる住民および世帯構成員、並びに既に被保険者となっている住民および世帯構成員の住登外登録情報(世帯単位)	日次 月次	共通	※1 ※2

※1 No.1、2については同一レイアウトとする。

抽出対象

被保険者および世帯構成員の異動情報

年齢到達予定者および世帯構成員の情報(世帯単位)

74歳以上の転入者および世帯構成員の情報(世帯単位)

65歳以上75歳未満で、申請により被保険者となった住民及び世帯構成員の情報(世帯単位)

65歳以上75歳未満で、障害認定者の広域内他市区町村からの転入者及び世帯構成員の情報(世帯単位)

上記にて送付した住民が異動した場合、その異動情報

※2 被保険者台帳の更正時などにおける随時処理もあり。

2.2 資格管理業務 (支払基金→広域連合)

No.	情報名 (情報種別コード)	レコード長	内容	周期	交換 情報	備考
1	被用者保険被扶養者情報 (月次：YA5)	600バイト	被用者保険の被扶養者であった対象者の情報	月次	個別	

2.3 資格管理業務 (広域連合→市区町村)

No.	情報名 (情報種別コード)	レコード長	内容	周期	交換 情報	備考
1	被保険者情報 (A51)	500バイト	後期高齢者医療の被保険者情報	日次	共通	※1
2	被保険者証 発行用情報 (A61)	1050バイト	被保険者証、短期被保険者証、資格証明書発行用の情報	日次 月次 年次	共通	※2
3	住所地特例者情報 (A72)	450バイト	住所地特例者の情報	月次 年次	共通	※3

※1 住民票へ記載するため等に使用する。

※2 発行対象となる被保険者証情報を送付する。

※3 市区町村から年金保険者へ住所地特例者の情報を送付する際の対象者確認用として使用するために、住所地特例者情報を送付する。住所地特例者情報は、処理実行時点で住所地特例者となっている被保険者の情報を全件送付する。住所地特例者の適用を解除した被保険者には送付しない。

3 交換情報の共通仕様

3.1 ファイル形式

伝送による交換情報ファイルは以下のとおりとする。

3.1.1 固定長 SAM ファイル形式（市区町村 ⇔ 広域連合）

表 3-1 固定長 SAM ファイルの形式

データ形式	固定長 SAM ファイル形式
ファイル名	連携システムまたは各業務処理システムにより設定する
文字コード	半角英数字・カ : エンコード UTF-8 ひらがな・カナ : エンコード UTF-16 (2 バイトコード、ビッグエンディアン方式) 漢字(外字含む) : エンコード UTF-16 (2 バイトコード、ビッグエンディアン方式) ※コード体系 UCS2 のコード領域を使用し、住基ネット統一文字コードに準じた体系

外部インターフェースファイル、セットアップインターフェースファイル、資格管理業務などの外部ファイル（市区町村側システムなどを考慮した受け渡し情報）。なお、半角カは、医療機関情報および金融機関へのインターフェースファイルで使用する。

3.1.2 PDF 形式（広域連合 ⇒ 市区町村）

表 3-2 PDF 形式

データ形式	PDF 形式
ファイル名	連携システムまたは各業務処理システムにより設定する

PDF（Portable Document Format Version 1.4）によるデータ伝送は、広域連合で出力した帳票の市区町村側での出力などの場合に使用する。また、レコードレイアウトについては標準規格に準拠のため省略する。

3.1.3 CSV ファイル形式（市区町村 ⇔ 広域連合）

表 3-3 CSV 形式

データ形式	CSV 形式
ファイル名	業務処理システム（資格管理システム・収納業務システム・給付業務システム）において設定する
文字コード	エンコード UTF-8

漢字項目については、桁数に対して最大 3 倍のバイト数となる。

資格管理・収納業務・給付業務システムで管理するデータなどについて、市区町村側で処理を行う場合に利用することを想定したファイル。

3.3 レコードフォーマット

3.3.1 ヘッダレコード

表 3-4 ヘッダレコード

No.	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	レコード識別子	英数	1	「1」を設定する。	
2	レコード番号	英数	7	「0000000」を設定する。	
3	情報種別	英数	3	各インターフェースデータの情報種別を設定する。	※1
4	媒体区分	英数	1	伝送の場合は「1」を設定する。 媒体交換の場合は「2」を設定する。	※2
5	ボリューム通番	英数	2	伝送の場合は「00」を設定する。 媒体交換の場合は一回の受渡しでのボリューム数を「01」から順次設定する。	
6	地方公共団体コード	英数	6	上2桁は JIS X 0401 に定められた「都道府県番号」を設定し、次の3桁が JIS X 0402 に定められた「市区町村コード」を設定する。 ただし、広域連合は市区町村コードに「000」を設定する。 国保連合会は「999」を設定する。 6桁目はチェックデジット「モジュラス11 ウェイト2-7 (LASDEC と同じ)」。	※3
7	保険者番号	英数	8	後期高齢者医療保険者番号を設定する。 (「法別番号(39)」+「都道府県番号」+「市区町村コード」+「チェックデジット(法別番号～市区町村コードまでの7桁を対象にモジュラス10 ウェイト2-1(分割)で設定)」)	※4
8	作成年月日(西暦)	英数	8	実在する作成年月日を西暦表記で「YYYYMMDD」の形式で設定する。	
9	作成時刻	英数	6	実在する作成時刻を24時間表記で「HHMMSS」の形式で設定する。	
10	予備	英数	—	予備領域	※5

※1 「2 インターフェース一覧」を参照。

※2 標準システムでは、特にチェックは行わない(連携システムへのデータ格納後に、必要に応じて、どちらで作成したデータかを確認できるようにしておくために使用)。

※3 政令指定都市は市のコードを設定する(市区町村コードの先頭コードで設定)。

※4 政令指定都市は市区単位に保険者番号を設定する(広域連合から送付される保険料情報、所得照会書/簡易申告書情報は、市でまとめたファイルとなるため、空白で設定される)。政令指定都市が一般市と同様に市単位にファイルを作成する場合は、スペースまたは代表保険者番号を設定する。

※5 データレコードと同じ長さとなるように予備を設定する。

3.3.2 データレコード

表 3-5 データレコード

No.	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	レコード識別子	英数	1	「2」を設定する。	
2	レコード番号	英数	7	「0000001」から連番を設定する。	※1
3	データ項目	—	—	各インターフェースデータを設定する。	※2

※1 政令指定都市の場合は、市単位で連番、マルチボリュームの場合は通しで連番。

※2 各インターフェースデータは「6 ファイルフォーマット」を参照

3.3.3 トレイラレコード

表 3-6 トレイラレコード

No.	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	レコード識別子	英数	1	「3」を設定する。	
2	レコード番号	英数	7	「9999999」を設定する。	
3	レコード件数	英数	7	データレコードの件数を設定する。	
4	予備	英数	—	予備領域	※1

※1 必要に応じて合計金額等の情報を付加し、データレコードと同じ長さとなるように予備を設定する。

3.3.4 各項目の設定条件

特に指定がない限り、以下の形式でデータ項目を設定すること。

ア) 英数

- ・半角の英数字をそれぞれ1バイトで表す。
- ・左詰めにし、残りを半角スペース文字で埋めた固定長とする。

イ) 数字

- ・半角の0, 1, 2, ..., 9の数字それぞれ1バイトで表す。
- ・右詰めにし、残りを0文字で埋めた固定長とする。
- ・左端に「+」または「-」の符号を付加する。
例) +12345の場合、「+0000012345」の11桁で表す。
-12345の場合、「-0000012345」の11桁で表す。

ウ) ひらがな・カナ

- ・ひらがな・カナをそれぞれ2バイト（全角文字）で表す。
- ・左詰めにし、残りを全角スペース文字で埋めた固定長とする。

エ) 漢字

- ・漢字1文字を2バイト（全角文字）で表す。
- ・漢字シフトコードを付加しない。
- ・左詰めにし、残りを全角スペース文字で埋めた固定長とする。

オ) 和暦元号

- ・項目の説明として項目（英数属性）に「和暦」を設定する旨、記載している場合、値の1桁目（G）に該当する値には、以下の値を設定する。
1：明治、2：大正、3：昭和、4：平成、5：令和

3.3.5 各共通項目の補足説明

特に指定がない限り、以下の項目とすること。

都道府県コード：JIS X 0401 に定められた「都道府県コード」

市区町村コード：JIS X 0402 に定められた「市区町村コード」

3.4 媒体による情報交換

市区町村と広域連合でのデータ交換はネットワーク接続による伝送を基本運用としているが、ネットワークの障害等により伝送が不可能となった場合、導入時セットアップや一時的に大量の件数を受渡しする場合は、以下の規定により媒体での受渡しを行うこととする。

3.4.1 媒体仕様

表 3-7 媒体仕様

・MO

媒体	230MB、640MB
媒体フォーマット	NTFS フォーマット
ボリューム名	任意

・フロッピーディスク

媒体	3.5インチFD(1.44MB)
媒体フォーマット	MS-DOS フォーマット
ボリューム名	任意

・CD-R

媒体	640MB、700MB
媒体フォーマット	Joliet フォーマット
ボリューム名	任意

媒体に納められる交換情報のファイル名は、以下の形式とする。

- ・交換情報ごとのファイル名を設定（サーバ間連携システムのファイル名称に従う）。

*1 USBの使用については、広域連合のセキュリティポリシーガイドラインに沿って取り扱いを決める。

3.4.2 媒体のファイル構造

交換情報のファイルは、1つの媒体にシングルファイルボリュームまたはマルチファイルボリュームとして作成する。

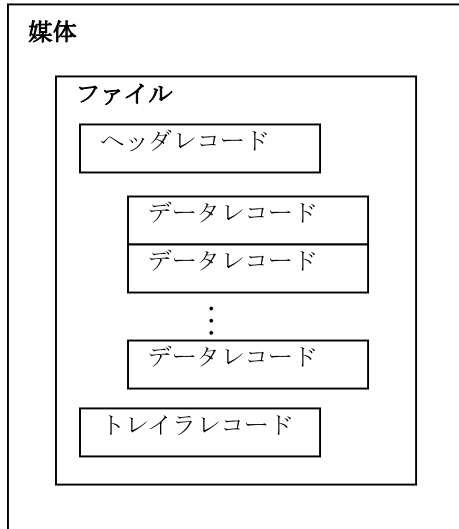
なお、交換情報の大きさと媒体の容量との関係から、1つの媒体に1つの交換情報が格納しきれない場合は、媒体の容量にあわせ交換情報を分割し、シングルファイルボリュームに分けて作成する。

表 3-8 ボリュームについて

シングルファイルボリューム	1つの媒体に1つのファイルが記録されているもの
マルチファイルボリューム	1つの媒体に2つ以上のファイルが記録されているもの

※1つのファイルが2つ以上の媒体にまたがって記録されている、マルチボリュームファイルは扱わない。

●シングルファイルボリュームのファイル構造



●マルチファイルボリュームのファイル構造

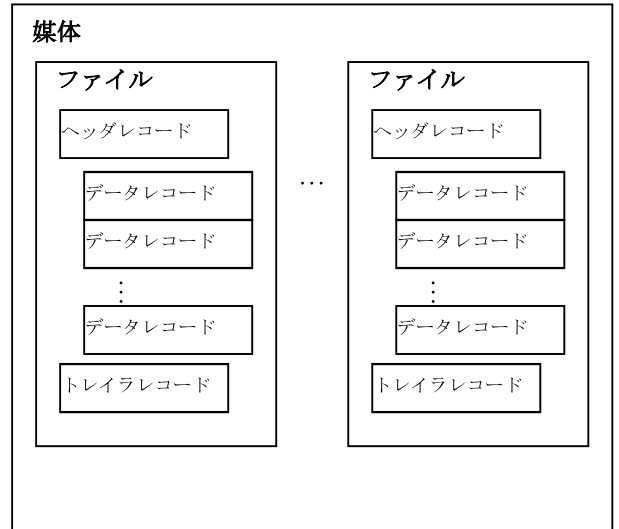


図 3-3 媒体のファイル構造

6.6 被保険者証発行用情報 (広域連合→市区町村)

No.	項目名	属性	桁数	バイト数	内容	必須区分(※1)	備考
1	個人区分コード	英数	1	1	1:住基 2:外国人 3:住登外	◎	
2	宛名番号	英数	16	16	個人を特定する番号を左詰めで設定する。	◎	
3	証区分コード	英数	1	1	1:被保険者証 2:短期被保険者証 3:資格証明書	◎	
4	被保険者番号	漢字	8	16	被保険者番号を左詰めで設定する。	◎	
5	交付年月日	漢字	11	22	交付年月日(和暦)を設定する。	◎	※2
6	氏名(カナ)	漢字	40	80	氏名(カナ)を全角文字で設定する。	◎	
7	氏名(漢字)	漢字	40	80	氏名(漢字)を全角文字で設定する。	◎	
8	生年月日	漢字	11	22	生年月日(和暦)を設定する。	◎	※2※4
9	性別	漢字	1	2	1:男 2:女 性別不明の場合は全角スペース1文字を設定する。	◎	
10	都道府県(漢字)	漢字	4	8	都道府県名を全角で設定する。	◎	
11	市区町村(漢字)	漢字	12	24	市区町村名を全角で設定する。	◎	
12	住所(漢字)	漢字	100	200	住所を全角文字で設定する。	◎	
13	資格取得日	漢字	11	22	資格取得日(和暦)を設定する。	◎	※2
14	発効期日	漢字	11	22	発効期日(和暦)を設定する。	◎	※2
15	有効期限	漢字	11	22	有効期限(和暦)を設定する。	◎	※2
16	一部負担金の割合	漢字	40	80	一部負担金の割合を設定する。	◎	※3
17	保険者番号	漢字	8	16	保険者の番号を設定する。	◎	
18	保険者名称(漢字)	漢字	25	50	保険者の名称を設定する。	◎	
19	宛名氏名(漢字)	漢字	40	80	宛名の氏名を全角で設定する。	◎	
20	宛名都道府県コード	英数	2	2	宛名の都道府県コードを設定する。	◎	
21	宛名市区町村コード	英数	3	3	宛名の市区町村コードを設定する。	◎	
22	宛名町名コード	英数	10	10	宛名の町名コードを設定する。	△	
23	宛名都道府県名(漢字)	漢字	4	8	宛名の都道府県名を全角で設定する。	◎	
24	宛名市区町村名(漢字)	漢字	12	24	宛名の市区町村名を全角で設定する。	◎	
25	宛名住所(漢字)	漢字	100	200	宛名の住所を全角で設定する。	◎	
26	宛名郵便番号	漢字	8	16	宛名の郵便番号を全角(「-」付)で設定する。 例 1112222→「1 1 1 - 2 2 2 2」	◎	
27	作成年月日	英数	8	8	広域連合側の作成年月日(西暦)を設定する。	◎	
28	作成時刻	英数	6	6	広域連合側の作成時刻を設定する。	◎	
29	予備	英数	1	1	空白を設定する。		

※1 必須区分(◎:必須、○:パターン毎に必須、△:任意設定、空白:スペース)

※2 和暦の表現方法は以下の様式とする。

例 2007/1/20日の場合 → 平成19年△1月20日

数字部分は全角文字とし、1桁の数字の場合は10の位を全角スペースで埋める。

なお、平成1年の場合は、「平成△元年」と設定する。

- ※3 一部負担金の割合については、被保険者証に印字される内容がそのまま設定される。
例 一部負担金の割合が「1割」と表示される場合は8桁全角スペースの後、9桁目から「1割」と設定される。
- ※4 外国人の生年月日の場合は、選択により西暦を設定することも可能。